

新生大阪産業技術研究所設立に際して思うこと

垣辻 篤

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 本部・和泉センター 応用材料化学研究部
連絡先 kakitsuji@tri-osaka.jp



ニューセラミックス懇話会が事務局を務める（地独）大阪府立産業技術総合研究所（産技研）は、本年4月1日付けで、（地独）大阪市立工業研究所（市工研）と統合し、地方独立行政法人大阪産業技術研究所（Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology; ORIST 略称；大阪技術研）が新たに発足いたしました。これは、多様化する企業ニーズを達成するには自社のみで完結するのではなく、オープンイノベーションの活用が重要となり、このため研究開発から実用化、製品化までの各ステージに適した総合的な技術支援に取り組み、産学官連携によるイノベーション創出拠点として機能することが求められているからです。両研究所がこれまでにそれぞれ培ってきた強みを活かしつつ、弱点をそれぞれ補完できる様にするものです。例えば、旧産技研での対応が困難であった食品分野は旧市工研の得意分野の一つであり、そこでの対応が可能となります。研究所全体で見ると対応分野が広がり、大阪のものづくり企業のほぼ全ての業種をカバーできるようになりました。ニューセラミックス懇話会に関しては、長年旧市工研より役員ならびに委員として運営に協力頂いており、統合後も強固な連携が変わる事なく継続しております。

現在、旧産技研は本部・和泉センターとして、旧市工研は森之宮センターとして、従来と同様の業務を行っております。具体的には、困り事等技術的課題に対する技術相談（無料）、材料・部品の各種試験、化学分析、依頼加工などを行う依頼試験、当所が保有する各種機器を使用頂く装置利用、委託により新製品開発や製品の性能向上にむけた技術的課題解決に取り組む高度受託研究、これと比較して簡易な事務手続きで実施出来る簡易受託研究、企業等の求めに応じて、互いに所有する人材、シーズ、ノウハウを有効に活用し、共同でものづくりに直結する高度な技術開発を行う共同研究を始め多彩なメニューを用意しております。会員企業の皆様におかれましては、これまでも増して大阪技術研をご利用頂きますようお願い申し上げます。

今後大阪技術研では、上記の通り、一法人として幅広い領域をカバーするだけでなく、分野横断的な新技術開発にも取り組み、研究・技術開発を企業と共に進め、課題解決のための技術支援を強化してまいります。さらに、「知と技術の集積拠点」としての機能を強化した研究所「スーパー公設試」を目指してまいります。これら統合効果が顕著になるまで、会員の皆様におかれましてはご指導ならびにご鞭撻を賜りつつ、今しばらく温かい目で見守って頂ければ幸甚です。

一方、ニューセラミックス懇話会事務局に目を転じますと、事務局業務は、主に筆者が所属する和泉センター応用材料化学研究部所属のセラミックス担当職員5名が担当しております。旧産技研が独法化された平成24年度以降に採用されたものが過半数を占め、非常にフレッシュな陣容となっております。統合作業が行われていた中でも従来と変わらず事務局の業務（これを団体支援業務と呼んでいます）を始め、前述の各種業務に励んでおります。研究業務につきましても、中堅・若手を中心となって新たなテーマに着手したところです。これまでと同様、これら研究成果が会員企業の皆様の製品化に結び着くよう努力する所存です。

ニューセラミックス懇話会創立 40 周年記念事業にて旧知の会員諸氏にお目にかかれた楽しいひとときがつい昨日のように思い出されますが、もう既に 5 年が経過しております。50 周年を迎える際には関係者皆様と共に成功話を酒の肴に花を咲かせられることを楽しみにしております。